

5月の衛研検査情報

～概要版～

医動物・食品中異物検査結果（平成30年度）

主な結果 2件の食品中異物検査から、昆虫類1件（コウチュウ目）、その他の節足動物類1件（ダニ目1件）でした。

小児科定点医療機関における病原体サーベイランス検査結果（2018年）

主な結果 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では、患者の咽頭拭い液37検体からA群溶血性レンサ球菌33株が分離されました。T型別ではT4型が最も多く、10株（30.3%）分離されました。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症検査結果（2018年）

主な結果 全国的に2014年あたりから発生件数が急激に増加し、横浜市でも同様の傾向が見られますが、その原因は不明です。高齢者に多く発症する傾向がみられるものの、2018年は0歳や20代～30代の若年者にも発症が見られました。

食品等の苦情品検査（平成30年度） —食品添加物担当で行った理化学検査—

主な結果 福祉保健センター等に届けられた苦情品の中で、原因究明のために搬入された検体は24件52検体でした。苦情の内容は様々ですが、異物混入が多く見られました。

食品中の放射性物質検査結果（平成30年度）

主な結果 466検体の検査を行ったところ、9検体から放射性セシウムを検出しましたが、基準値を超えたものではありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成31年4月は、大麻（マリファナ）、HIV感染症、感染症発生状況（2019年 第12週～第16週）、横浜市インフルエンザ流行情報13号（2018/2019）、感染症に気をつけように関するページのアクセスが多く見られました。総件数は129,338件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページをご覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。